

-----1月26日-----

今週のアウトルック (1/26 ~ 1/30)

先週は、結果的には全般的に少しずつ円高が進んだ週となりました。ドル円は22日午前0時、大量のオプション期日切れを機に、一気に87円を切るところまで下がりましたが、その後まもなく89円台前半まで回復しています。木曜日、金曜日の動きは88円から89.4円あたりまでのレンジ的な動きとなりました。今週も日米株価がレンジ的な動きとなれば、ドル円も87円後半から89円前半あたりのレンジ的な動きになってしまうかもしれません。ただ、日米の株価がもう一段下げてしまうと、85円あたりをトライする動きになることも考えられます。

ユーロ円も下降トレンドでありながら、何とか持ちこたえているという印象です。ただ、ユーロドルは1.3を回復するのが難しくなっているようにも思います。下値を模索する展開になれば1.27あたりまで下落することも十分あると思います。ユーロ円はドル円が85円あたりまで下落することがあれば、一気に106円あたりまで下落してしまう可能性も考慮すべきだと思います。

ポンドは非常に危ない状態です。

景気減速が明らかになり、金融機関救済に必要な予算と国家予算を見比べた場合、将来的にも不安が残ります。

ポンドドルは1.4をこえられない状態となり、1.35あたりをは挟んだ動きになるかもしれません。ユーロポンドも0.95を目指しそうな状況です。ポンド円は120円台を維持できるかがポイントとなりそうです。

クロス円を中心に円高が進んでいますが、米国の決算の発表や経済指標のサプライズがあれば、今週あたりドル円の一段下落があってもおかしくなさそうです。

NYダウとポンドの動きに注目しています。

システムトレード的アドバイス

「トレード日誌が役に立つ」

ある程度トレード回数を重ねて、いろいろな書物や雑誌を読みあさり、少しずつ勝てるようになってくる時期は意外に早く来るものです。

ところが、5回に1回あるいは10回に1回程度の負けトレードで、トータルではマイナスになってしまう、そんな状況に陥ってしまった経験をされたかたは多いのではないのでしょうか。

トレード日誌と言いますか、トレードごとの記録をつけておきますと、こういった状況に陥ってしまった原因が見つかりやすいように思います。

トレードごとのエントリー、クローズ値、損益額、損切り値、エントリー、クローズの理由などを簡単に構わないので、メモしておきますと後々非常に

役立ちます。

人それぞれ、原因は違うと思いますが、
「損切りの値を少しずつ広げてしまった」
「ナンピンを繰り返してしまった」
など、簡単な原因なのかもしれません。

トレードで100%勝つことはできません。うまく負けトレードをコントロールできる人だけが、長期間にわたり勝って行けます。

これは非常に重要なことだと思います。

このことを実践するにはトレード日誌が非常に役立ちます。
学生時代のテストと同じで×直しが実力をつける早道、ということと同じわけ
です。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご
了承ください。